

鉄づくりのわざとこころ

—木原明村下の教えと古代製鉄の探求—

昨年2024年6月、日刀保たたらの木原明村下(むらげ)が逝去されました。木原村下は、先代、安部由蔵村下が復活させたわが国伝統のたたら製鉄技術を継承し、日本刀に欠かせない玉鋼の生産とたたらに対する認知度の向上に尽力されました。本センターでも創立以来、客員教授として古代製鉄技術、とくに復元研究の面でご指導を賜りました。その後、この分野の研究は大きく進展し、韓国や中国にも波及して古代製鉄研究に広く貢献するところとなっています。

本シンポジウムでは、木原村下の功績を顕彰するとともに、これまでの研究と活動を振り返り、今後の製鉄研究を展望します。

申込不要・入場無料

新見市たたら操業施設での製鉄実験

第一部

12:30 開場

13:00 開会

13:05-13:50 基調講演 古代製鉄研究と木原明村下
村上 恭通(愛媛大学)

13:50-14:40 韓国古代製鉄研究と木原明村下
金 京鎬(韓国湖西文化遺産研究院) (通訳:鄭 宗鎬)

14:40-15:10 四川における製鉄研究と木原明村下
李 映福(四川大学歴史文化学院)

第二部

15:30-16:40 パネルディスカッション
「木原明村下のわざとこころに学ぶ」

堀尾 薫(日刀保たたら)

真鍋 成史(交野市役所文化観光課)・村上 恭通

16:40 閉会

後援 (株)プロテリアル

日時:2025年12月13日(土)

13:00~16:40

場所:愛媛大学城北キャンパス

メディアホール

(メディアセンター1階)

【木原明村下】1935年山口県生まれ。54年日立製作所安来工場入社。砂鉄製錬研究、砂鉄採取と角型溶鋳炉木炭鉄製造に取り組む。77年、日刀保たたらを復活させ、88年、(財)日本美術刀剣保存協会日刀保たたら村下に就任。2024年逝去。

(株)プロテリアル鳥上木炭工場顧問、選定保存技術保持者(玉鋼製造)認定(86年)、「現代の名工」受賞(04年)、愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター客員教授(07)、奥出雲町名誉町民(10年)。

中国四川省での漢代製鉄復元実験



韓国清州市での古代製鉄復元実験



今治市での古代製鉄復元実験

